

平成26年度授業シラバスの詳細内容

| | | | | |
|---------------|-----------------------------|-----|-------------|---------|
| 科目名(英) | マクロ経済学(Macroeconomics) | | 授業コード | E005751 |
| 担当教員名 | 板倉 理友 | | 科目ナンバリングコード | E20401 |
| 配当学年 | 2 | 開講期 | 後期 | |
| 必修・選択区分 | 選択 | 単位数 | 4 | |
| 履修上の注意または履修条件 | 経済学入門、ミクロ経済学を履修していることが望ましい。 | | | |
| 受講心得 | 出席は毎回取ります。私語は慎んでください。 | | | |
| 教科書 | プリントを配布します。 | | | |
| 参考文献及び指定図書 | | | | |
| 関連科目 | ミクロ経済学、経済数学、経済学入門、経済分析 | | | |

| | |
|-------|--|
| 授業の目的 | 本講義では、マクロ経済学の基礎的な知識の習得に努めるものとします。最初に、マクロ経済学とはどういう学問かを、我々の生活の中での経済活動と関連付けながら容易に全体像が把握できるようにします。次に、一国全体の経済の仕組みはどうなっているのか、国民所得とは何か、その所得水準はどのように決定されるのか、資産と所得の関係はどうか、インフレーションや失業の発生原因は何か、景気循環や経済成長はどのように生じるのか等々を学ぶことによって、マクロ的な経済現象の理解を深めることにします。 |
| 授業の概要 | マクロ経済とは何か、なぜ学ぶ必要があるのか、一国経済の消費、投資はどうなっているのか、市場の均衡とは何か、国民経済の運営は政府によってどのようになされているのか、また外国との関係はどのようになっているのが経済的によいか等々について、学んでいきます。 |

| ○授業計画 | |
|---|-----------------|
| 学修内容 | 学修課題(予習・復習) |
| 第1週：GDPとは何か 国内総生産、三面等価の原則、活動水準をどう捉えるのかについて学びます。 | プリント配布、確認テスト・解答 |
| 第2週：ミニテスト、ミニレポートの作成 前回授業内容の理解を深めるため、ミニテストとミニレポートを作成します。 | ミニテスト・解答、ミニレポート |
| 第3週：消費と貯蓄の理論 ケインズ型の消費関数、ライフサイクル仮説、恒常所得仮説等について学びます。 | プリント配布、確認テスト・解答 |
| 第4週：ミニテスト、ミニレポートの作成 前回授業内容の理解を深めるため、ミニテストとミニレポートを作成します。 | ミニテスト・解答、ミニレポート |
| 第5週：投資理論 投資の決定要因、資本の限界生産性と資本の使用者費用等について学びます。 | プリント配布、確認テスト・解答 |
| 第6週：ミニテスト、ミニレポートの作成 前回授業内容の理解を深めるため、ミニテストとミニレポートを作成します。 | ミニテスト・解答、ミニレポート |
| 第7週：投資理論2 新古典派の投資理論、投資の不可逆性等について学びます。 | プリント配布、確認テスト・解答 |
| 第8週：ミニテスト、ミニレポートの作成 前回授業内容の理解を深めるため、ミニテストとミニレポートを作成します。 | ミニテスト・解答、ミニレポート |
| 第9週：金融と株価 企業の資金調達手段、家計の資産選択、株価の決定理論等について学びます。 | プリント配布、確認テスト・解答 |
| 第10週：ミニテスト、ミニレポートの作成 | |

| | |
|---|------------------------|
| 前回授業内容の理解を深めるため、ミニテストとミニレポートを作成します。 | ミニテスト・解答、ミニレポート |
| 第11週：貨幣の需要と供給 貨幣の3つの機能、貨幣の概念、貨幣の需要動機等について学びます。 | プリント配布、確認テスト・解答 |
| 第12週：ミニテスト、ミニレポートの作成 前回授業内容の理解を深めるため、ミニテストとミニレポートを作成します。 | ミニテスト・解答、ミニレポート |
| 第13週：乗数理論とIS-LM分析 有効需要の原理、乗数理論等について学びます。 | プリント配布、確認テスト・解答 |
| 第14週：ミニテスト、ミニレポートの作成 前回授業内容の理解を深めるため、ミニテストとミニレポートを作成します。 | ミニテスト・解答、ミニレポート |
| 第15週：乗数理論とIS-LM分析2 インフレ・ギャップとデフレ・ギャップ、IS曲線とLM曲線等について学びます | プリント配布、確認テスト・解答 |
| 第16週：ミニテスト、ミニレポートの作成 前回授業内容の理解を深めるため、ミニテストとミニレポートを作成します。 | ミニテスト・解答、ミニレポート |
| 第17週：経済政策の必要性 景気循環と経済政策、数量調整対価格調整、金融政策の有効性等について学びます。 | プリント配布、確認テスト・解答 |
| 第18週：ミニテスト、ミニレポートの作成 前回授業内容の理解を深めるため、ミニテストとミニレポートを作成します。 | ミニテスト・解答、ミニレポート |
| 第19週：財政赤字と国債 政府支出拡大の便益、クラウドニング・アウト、ビルトイン・スタビライザー等について学びます。 | プリント配布、確認テスト・解答 |
| 第20週：ミニテスト、ミニレポートの作成 前回授業内容の理解を深めるため、ミニテストとミニレポートを作成します。 | ミニテスト・解答、ミニレポート |
| 第21週：財政赤字と国債2 政府の予算制約、国債の役割の問題点、国債の中立命題等について学びます。 | プリント配布、確認テスト・解答 |
| 第22週：ミニテスト、ミニレポートの作成 前回授業内容の理解を深めるため、ミニテストとミニレポートを作成します。 | ミニテスト・解答、ミニレポート |
| 第23週：インフレとデフレ ダイヤモンド・インフレ、コストプッシュ・インフレ、予想されないインフレのコスト等について学びます。 | プリント配布、確認テスト・解答 |
| 第24週：ミニテスト、ミニレポートの作成 前回授業内容の理解を深めるため、ミニテストとミニレポートを作成します。 | ミニテスト・解答、ミニレポート |
| 第25週：失業 古典派の雇用理論、賃金の硬直性と非自発的失業、フィリップス曲線等について学びます。 | プリント配布、確認テスト・解答 |
| 第26週：ミニテスト、ミニレポートの作成 前回授業内容の理解を深めるため、ミニテストとミニレポートを作成します。 | ミニテスト・解答、ミニレポート |
| 第27週：経済成長論 経済成長とは何か、経済成長理論、経済成長の源泉等について学びます。 | プリント配布、確認テスト・解答 |
| 第28週：ミニテスト、ミニレポートの作成 前回授業内容の理解を深めるため、ミニテストとミニレポートを作成します。 | ミニテスト・解答、ミニレポート、レポート課題 |
| 第29週：オープン・マクロ経済 | |

| | | |
|--|-----------------|-----------------|
| 国際収支、資本収支と経常収支の関係、為替レート等について学びます。 | | プリント配布、確認テスト・解答 |
| 第30週：ミニテスト、ミニレポートの作成 前回授業内容の理解を深めるため、ミニテストとミニレポートを作成します。 | | ミニテスト・解答、ミニレポート |
| 第31週：期末試験 試験時間は60分で、計算問題を必ず1つは出題します。 | | |
| 授業の運営方法 | (1) 授業の形式 | 「講義形式」 |
| | (2) 複数担当の場合の方式 | |
| | (3) アクティブ・ラーニング | 「アクティブ・ラーニング科目」 |
| 備考 | | |

| | |
|-----------------------------|---|
| ○単位を修得するために達成すべき到達目標 | |
| 【関心・意欲・態度】 | ①国内総生産とは何かを説明できる。 |
| 【知識・理解】 | ②政府の行う経済政策の効果について説明できる。 ③経済成長とは何か、どうすれば成長できるのか説明できる。 |
| 【技能・表現・コミュニケーション】 | ④市場の均衡について説明できる。 |
| 【思考・判断・創造】 | ⑤政府が実際に実施している政策についてコメントできるようになる。 |

| ○成績評価基準(合計100点) | | | 合計欄 | 100点 |
|--|---------------------|-------------------|------------------|------|
| 到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点 | 期末試験・中間確認等 (テスト) | レポート・作品等 (提出物) | 発表・その他 (無形成果) | |
| 【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。 | | 10点 | | |
| 【知識・理解】 ※「専門能力<知識の獲得>」を含む。 | 40点 | | | |
| 【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力<知識の活用>」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。 | | | 10点 | |
| 【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。 | 40点 | | | |
| (「人間力」について) ※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。 | | | | |

| ○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安 | |
|------------------------------------|------------------------------------|
| 成績評価方法 | 評価の実施方法と達成水準の目安 |
| レポート・作品等 (提出物) | レポートを課しますので、期日までに提出をしてください。 |
| 発表・その他 (無形成果) | 確認テスト・ミニテストに真面目に取り組んでいるかどうかで評価します。 |